

2026年2月12日

各 位

会 社 名 筑波精工株式会社  
代表者名 代表取締役社長 傳 寶菜  
(コード番号：6596、TOKYO PRO Market)  
問合せ先 取締役管理部長 山口 成人  
TEL 0285-55-0081  
URL <https://tsukubaseiko.co.jp/>

### 通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表しました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期業績予想につきまして以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

2026年3月期通期業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益 (損失△)	経常利益 (損失△)	当期純利益 (損失△)	1株当たり 当期純利益 (損失△)
前回発表予想(A)	百万円 351	百万円 4	百万円 3	百万円 1	円 銭 0.34
今回修正予想(B)	273	△34	△35	△50	△13.65
増減額(B-A)	△78	△39	△39	△52	
増減率(%)	△22.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	237	△44	△45	△69	△18.75

修正の理由

売上高については、国内は、想定よりも大幅に減収となっております。理由としましては、国内の半導体業界は需要の回復途上にあり、見込んでいた受注を得ることができませんでした。海外は、プラス要因として4月に半導体メーカーより自動機ユニット及びSupporter®の大口受注がありましたが、ステージについては、受注の遅れから一部来期の売上となる見込みです。加えて前期からの継続案件となっているAIデータセンター関連における大口受注の見込案件は、引き続き当社製品の評価が続いており、今期の売上とすることができませんでした。よって当初予想よりも大幅な減少見込となりました。

また、各利益については、売上高減収による影響が利益面に出て、営業利益及び経常利益が当初予想よりも減少し、減損損失や未収入金の貸倒れの発生により当期純利益も減少する見込みとなりました。

以上により、上記の通り業績予想を修正いたします。

(注) 業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

以 上